フジ国際語学院 早稲田校 自己点検及び評価

2024年度版

自己点検・評価方法

5 達成している　4 ほぼ達成している　3 どちらとも言えない　2 取り組みを検討中　1 要改善

■教育の理念・目標	自己評価
学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	5
その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

当校は外国人学生等に対し、日本の高等教育機関への進学のため、また、日本の文化社会に対する理解を深めるため、必要な語学力と日本の文化及び経済、社会などに関する基礎的な知識を教授し、各国の発展に役立つ有能な人材の養成を図ることを目的としている。

創立20年程になるが、厳格な入学選考と入学後の高度な日本語教育及び徹底した進学指導により一流大学、大学院への進学実績は毎年増加している。また、一方で自動車やIT等の専門分野に特化した進学先を選択する学生や就職を希望する学生もいるため、多様な進学先に進めるようにサポートし、目標を実現する力を養っている。
また日本社会に順応できるように日本のルールやマナーの教授を行い、当校卒業後に実践的に活用できる水準の高い日本語の習得はもちろんのこと、当校在学中のみならず卒業後にも日本の規律を遵守し世界的に活躍できる人材の育成に努めている。

■教育活動	自己評価
教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか、また適切に運用されているか	5
教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

長年の経験により適切な教育課程を組んでいる。1年に一度適正かどうか見直しを行っている。
教員の指導のため適宜研修や勉強会を開催している。

■教育環境	自己評価
学校の施設・設備が充分かつ安全に整備されているか	5
教材は適切か	5
学習効率を図るための環境整備がなされているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

施設、設備は告示基準に合わせて整備されている。
教材については、在籍する学生のニーズに合わせて適宜調整している。

■学修成果	自己評価
生徒の日本語力の向上が図られているか、適切に把握しているか	5
生徒の進路を適切に把握しているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

学生の日本語力の向上を図るために定期的な大テストのほか高頻度で小テストを行い、定期的にクラス分けを行うなどし、徹底したレベル分けにより学生一人一人が適した学習進度のクラスで学べるよう努めている。同時に、学生の進路希望に合わせた日本語力養成にも努めている。

■生徒支援	自己評価
生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	5
健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	5
防災や緊急時における体制が整備されているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

入学時に個々の進路の希望を把握し、かつ定期的に教員と進路の相談を行っている。
母国語職員と教員が連携を取りながら生徒の状況を把握し、適宜必要な支援を行っている。
入学時の説明会で健康管理や生活に関する情報を指導する他、年一度の健康診断と結核検診を実施している。

■入学者の募集	自己評価
入学者の募集は適切に行われているか	5
その際に学校情報は正確に伝えられているか	5
授業料は適切か	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

入学者の募集については独自の厳しい基準を設け、日本語の勉学意思能力の高い学生、安定的かつ継続的な経費支弁能力の有無を慎重に審査し、入国管理局の審査基準に沿った学生を受け入れるよう努力を重ねている。

■学校運営	自己評価
学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	4

＜現状／取り組み内容／課題＞

全国的な留学生の増加やそれに伴う告示基準の改正に合わせ、都度、基準を満たしているか自主的に点検を行っている。

■法令遵守	自己評価
出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営、個人情報の保護の取組、自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行なっているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

法務省の法令を遵守している。自己点検を実施し、改善項目を明確にする事で学校のより良い運営を目指している。個人情報の取り組みについては今後も更に徹底していく。

■財務	自己評価
中長期的に財務基盤は安定しているか	5
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている か	4
財務について会計監査は適切に行われているか	5
財務情報の公開の体制はできているか	4

＜現状／取り組み内容／課題＞

新型コロナウイルスの影響で新入生が入国できない状況が続いていたが、入国制限が緩和され、一定数の学生が入学し、安定して学校運営を行っている。

■地域貢献・社会貢献	自己評価
日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行なっているか	5

＜現状／取り組み内容／課題＞

随時地域の国際交流イベント等を案内して、地域との交流を図っている。
当校の資源を生かし学生及び地域のためになる活動を今後も模索していく。